第13回アジア―環太平洋質量・力・トルク計測国際シンポジウム（APMF2017）開催報告

次回のAPMF2019は日本で開催

東京電機大学　山崎敬則

今年で13回目

アジア―環太平洋質量・力・トルク計測国際シンポジウム（APMF：Asia-Pacific Symposium on Measurement of Mass, Force and Torque）は、1992年に中国計量科学研究院Wang Liji副院長と大阪工業大学前田親良教授との日中間の友情から始まったシンポジウムであり、その後、韓国、東南アジア諸国が加わるなど、今回が13回目の開催となる歴史ある国際シンポジウムである。現在は、計測自動制御学会計測部門力学量計測部会が窓口となってグローバルな活動を続けている。

研究・技術開発の成果を交流

APMFの目的は、力・質量・トルク計測に関する先端的な研究や応用分野の技術的開発に関する成果を広めるとともに、近隣諸国の研究者・技術者の交流を深めることにより各領域の発展に寄与することにある。

参加者が記念撮影（Googleフォト「APMF Symposium 2017 Date 21.11.17 Meeting Session」から）

2017年11月19日から4日間、タイのクラビで開催

今大会は2017年11月19日から4日間の日程でタイのクラビで開催された。

クラビは、タイの首都バンコクから150kmほど南に位置する非常に景観の良いリゾート地である。11月にもかかわらず気温は30度前後あり、スーツ姿では暑い気候であった。バンコクからクラビ行きの国内線に乗り込むと、ほとんどがヨーロッパからの乗客で、クラビが厳冬のヨーロッパで避寒地として人気が高いということを実感させられた。

講演件数は50件

大会における講演件数は50件（Oral 32, Poster 32）であり、活発な議論が展開された。

基調講演には、国際度量衡局（BIPM）のMichael Stock氏「Realization and dissemination of the kilogram after its planned redefinition」、イタリア計量研究所（INRIM）のAlessandro Germak氏「The effect of the redefinition of the kilogram on its present related quantities」、タイ標準研究所（NIMT）のTwat Changpan氏「History of Mechanical Metrology Department of National Institute of Metrology」の3名が招かれた。

日本から18名が参加

参加国は、タイ、中国、韓国、台湾、オーストラリア、欧州各国など16カ国／地域、参加者は74名であった。日本からは、創設者の前田親良先生、産業技術総合研究所（産総研）の小畠時彦氏、エー・アンド・デイの長根氏を始め18名の参加があり、国別で最多となり大会に貢献できたのではないかと考えている。また、閉会式において若手研究者の表彰があり、日本では、飯泉英昭氏（産総研）、坂本亮賢氏（電機大院）、佐藤貴人氏（電機大院）、田崎良佑氏（豊橋技大）、山川雄司氏（東大）が栄誉に浴したことは喜ばしい限りである。

テクニカルツアーも実施

会期中は、ウェルカムパーティー、バンケット、テクニカルツアーとイベント盛りだくさんであった。テクニカルツアーではクラビ発電所を訪れたが、日本の日立プラント建設が施工に携わったと聞き、日本の技術者の活躍を垣間見る良い機会となった。テクニカルツアー後におこなわれたクラビ名物の島巡り（アイランドホッピング）では澄み渡った海を眺め、夕刻からはシーフードのバーベキューに舌鼓を打った。

シンポジウムの領域を拡大

今大会の特筆すべき点として、APMFをさらに発展させるべく、APMFの名称を国際プログラム委員会でAsia Pacific Measurement Forum on Mechanical Quantitiesに変更する議決をしたことがあげられる。これによりシンポジウムの領域が、圧力、真空、硬さ、振動などの分野にも拡大されることとなった。

なお、この議決に関しては、産総研の大串浩司氏が国際プログラム委員長のDae Im Kang氏（KRISS）に働きかけるなど大変に尽力されたことを付記する。

2019年の日本開催が決定

さらに国際プログラム委員会において、次回2019年の開催国が日本に決定された。力学量計測部会では、早速、国内組織委員会を立ち上げ、みなさまのご参加をお待ち申し上げるしだいです。

協力者を募集

なお、産官学を問わず、APMF2019日本開催にご協力いただける方を募集しております。ご賛同くださる場合は、西野敦洋氏（産総研：apmf2019-ml@aist.go.jp）までご連絡をいただければ幸いです。

新年号第2部

新日本百景―自然歳時記　①面
APMF2017開催　③面
資料―政省令改正にともなう自動はかりの検定実施　④⑤面
資料―政省令改正の概要　⑥⑦⑧⑨⑩⑪面
団体広告　⑫⑬面
自動はかりの製造・修理事業者届出開始について　⑭面

あの汎用小型吊はかりに検定付きが新登場
ハンディコスモⅡ

1t～2t

2017導入記念
50t吊秤試験機
自社検定で万全メンテ体制

型式承認取得キャンペーン

性能は高く
国家検定対応
IP65防水性能
軽い使い心地

コストは低く

キャンペーン期間
2017年 12月1日から
2018年 3月末日まで

型　式　（ひょう量/目量）：1ACBP（1t/1000kg）
2ACBP（2t/2000kg）
3ACBP（3t/3000kg）
5ACBP（5t/5000kg）

3t～5tタイプ
近日発売

株式会社 守隨本店
SHUZUI SCALES CO.,LTD SINCE1658
URL：http://www.shuzui.jp/　E-Mail：hakariza@shuzui-scales.co.jp
経産省指定製造事業者
質量計第一類指定番号：022301
ISO9001:2008
認証・登録番号TUV100 06 1774

キャンペーンの詳細は各営業所にお気軽にお問合せ下さい
名古屋本社☎(052)361-1511　東京営業所☎(03)5675-3621　広島営業所☎(082)962-1169　大阪出張所☎(06)6151-3662